



**危機管理局防災計画課  
事務（社会人経験者）・男性職員  
（平成31年度入庁）**

# ①はじめに～自己紹介

## 入庁まで

★出身：宮城県

H17.10：民間企業に就職（防災コンサル）

H24.4：大震災後、Uターンして大学職員に  
自治体や地域の防災をお手伝い（7年間）

H31.4：仙台市入庁（社会人経験者・事務）

## 入庁後の異動歴（現在入庁3年目）

◇ H31.4～現在

危機管理室 → 危機管理局防災計画課

津波対策、防災計画、避難所運営マニュアル等を担当

## ②志望動機

### なぜ公務員？

- ・ 仙台市の防災対策に、直接かかわってみたい。
- ・ 行政の内側を「見てみたい！」という動機も。

### なぜ仙台市役所？

- ・ 前職では、仙台市に関わる場面も多くあり。
- ・ 「社会人経験者採用」にチャレンジできる！  
(年齢にこだわらず、経験を活かせる可能性)

# ③私の経験談を紹介！～入庁後に担当してきた業務 危機管理局 防災計画課

## 地域防災計画の見直し

- 市の防災・災害対策の計画書
- 近年の災害における教訓や、法令改正などを反映し、平成25年度から毎年見直しを行う。

## 避難所運営マニュアルの作成・修正

- 仙台市の避難所は、地域団体・避難者・市の職員・施設管理者等が協働して運営。
- 避難所における新型コロナウイルス対策のマニュアルを令和2年6月に追加。



防災計画課防災計画係では、毎年度、担当業務が変わります。

### 仙台市 避難所運営マニュアル(別冊)

#### 新型コロナウイルス対策追加事項 (令和2年6月 暫定版)

新型コロナウイルス感染症の流行が長期化する一方、災害はいつ発生するかわかりません。避難所への避難により新型コロナウイルス感染症が拡大することを防ぐため、各避難所で感染症対策に取り組み必要があります。

本マニュアルは、既存の避難所運営マニュアル(事前準備説明、活動編、大雨時避難・開設編、マニュアルシート集、様式集)を基本に、新型コロナウイルス感染症の対策として実施する事項を記載しています。



#### 【地域団体】

事前に定めた避難所運営マニュアルやルールにより、避難所の開設や運営、避難者の受け入れを行います。



#### 【避難者】

避難所での人の密集を避けるため、在宅避難や親族・友人宅等、避難所以外への避難もあらかじめ検討します。避難所へ避難する場合は、マスク、体温計、手洗い用せっけんなどの衛生用品、季節にあった服装、滞在時の寝具や敷き物、当番の水・食料などを各家庭から持参して避難します。



#### 【避難所担当課・避難所担当職員】

仙台市から避難所に派遣され、避難所の開設、運営や衛生管理等に努めます。台風等の大雨災害が事前に予想される場合は各指定避難所に早期に派遣され、避難所の開設や避難者の受け入れを初動から担います。



#### 【施設管理者・職員】

避難所内の居住スペースや、体調不良者の専用スペースを設置する際など施設の活用に関することを中心に運営の支援を行います。

## ④仕事のやりがい

### 【計画づくり】

- ・ 仙台市はどう備える(どう対応する)をデザインできる。

### 【計画づくりは、人づくり・地域づくりにも】

- ・ 例えば、  
避難所運営には、様々な人の協力が欠かせない。

⇒事前に地域で話し合い、  
地域版のマニュアルづくりや、  
避難所運営訓練へ。

⇒多様な意見も、今後の糧に。

